

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1 大規模災害時における 在宅避難者・車中泊避難者 等への支援について 【質問趣旨】 近年、大規模災害時において在宅や車中泊での避難を選択される方がいる。こうした避難者等への支援が十分に行き届かず災害関連死につながるなど課題となっている。国は令和6年に「在宅・車中泊避難者等の支援の手引き」を策定し、各自治体へ適切な支援に取り組むことを求めている。本市では南海トラフ地震に備え、様々な対策が進められているが、災害時には指定避難所以外の避難を選択される避難者がいると想定されることから本市の支援等について伺う。	(1) 避難者の状況把握 (2) 車中泊避難者への支援	① 避難者の中には、小さなお子さんのいる方、ご高齢の方、障害のある方、また、そうしたご家族と生活をされている方々、ペット同伴の方など何らかの理由で在宅避難ややむを得ず車中での避難を選択する方々もいる。本市では大規模地震災害時には在宅・車中泊避難者の状況をどのように把握するか伺う。 ② 在宅・車中泊避難者の中でも、看護・介護・介助が必要な一人暮らしの高齢者や障害のある方など特に支援を必要とする要配慮者についてはどのように把握するのか伺う。 ① 車中泊避難者が分散すると避難者の状況把握は難しくなると考える。食料・物資・情報提供、健康支援などを行うためにも、避難場所や利用方法、運用について明確にすることが重要と考える。本市では車中泊避難の場所として指定避難所のグラウンド利用を想定しているとのことだが、災害時に安全で円滑な受入れを可能とするため駐車位置や動線、安全管理などに関してどのように定めているか伺う。 ② 指定避難所のグラウンドが車中泊避難場所として想定されていることについて地域住民への周知と訓練についてはどのように取り組まれているか伺う。 ③ 車中泊避難にはエコノミークラス症候群の危険性など健康面への配慮や必要な備えなど特有の注意点があり、近隣市では「車中泊避難ハンドブック」を作成し啓発に取り組む自治体もある。二次災害を防ぐためにも車中泊避難の注意点や備えについては日ごろから防災対策の一環として啓発していく必要があると考えるが本市の今後の取組を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 在宅避難者への支援	①避難者等は精神的・肉体的な負担に加え持病の悪化や服薬の途切れ、また訪問介護や看護など必要な支援が受けられず、災害関連死につながる可能性もある。医療・介護・福祉等の間で在宅医療に関わる情報をもーやっこネットワークを活用し共有しているが、個々の状況に応じた支援を行うにあたり、行政はどのような役割で医療・介護・福祉等事業者と連携し支援体制を整えるか伺う。 ②足腰の弱い高齢の方や障害のある方など、自ら指定避難所へ物資を受け取りに行くことが難しい方もいると考える。こうした方々にも必要な物資が届くよう、どのような配布の仕組みをお考えか伺う。
	(4) 指定避難所以外の支援拠点について	①現在、本市では物資などの受け取り拠点を指定避難所としているが、避難所へ行くことが難しい在宅・車中泊避難者に対しても食料や物資の配布、必要な情報など、避難所と同等の支援を受けられる体制を整える必要があると考えるが見解を伺う。 ②在宅避難者や車中泊避難者が身近な場所で食料や物資を受け取り、必要な情報や支援に繋がることが可能となるよう、指定避難所とは別の支援拠点として、地域の集会所や施設などの身近な場所を「在宅避難者等支援施設」として状況に応じ活用するお考えはあるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。